

さ ざ ん か

第98号、2010年1月

あけましておめでとうございます。年末、年始、いかがお過ごしだったでしょうか。今年も北薩病院広報誌「さざんか」をよろしく願いいたします。

平成でいうと22年。平成生まれの大卒新社会人が世の中へデビューするようです。バブル崩壊後の就職氷河期より厳しいといわれる今年の就職戦線ですが、若者の元気と明るさで頑張る社会人としてのスタートを切って欲しいものです。高校卒業の人達はすでに平成生まれの社会人として活躍していますね。

今年の干支は寅です。阪神タイガーズだけでなく、フーテンの寅さん、酔っ払いの大トラなど、なんとなく元気になれるようなイメージです。(ちなみに私の干支はヘビです。なんか、しつこくて陰湿だと思われそう)。

世の中はデフレ不況だとか。確かに、社会面での明るいニュース、景気のいいニュースがめっきり減っています。こういうときの、逆説的定説は、こういうくらい時代だからこそ、せめて気持ちを明るく持って元気に行きましょう！という風になるのでしょうか。

まあ、そんなふうに気楽に、評論家的立場をとることにあえて反対はしませんし、結局、それしかないのかもしれませんが、せめて、何か気持ちだけでなく具体的な行動がとれれば良いな、と思います。

今年も病院職員一同、頑張る良い医療を提供できるよう気合をいれて働き、みなさまとともに健康で明るい一年にしたいと思います。よろしく願いいたします。

俳句

西屋敷喜美子

達筆の 百三才の 年賀状

老二人 あれこれそれと 冬うらら

おもむろに 老醜を見る 初鏡

病院からのお知らせ

- * 猛威をふるった新型インフルエンザもやや沈静化しつつありますが、手洗い励行はそのまま続けましょう。発熱して心配な方は、早めに受診してください。
- * 季節性インフルエンザのワクチンは生産量が例年より少なくもう品物がなくなりました。いつものつもりでおられた方の中には、接種できなかった方もいるようです。
見通しの甘さと説明不足がありました。申し訳ありませんでした。
- * 新型インフルエンザワクチンは国民全員にわたる量は確保されたということです、希望者にはおそらく全員摂取できる見込みです。摂取可能な方には病院事務からお宅に電話で連絡することになっています。
- * 病院内では、全ての方にマスク着用をお願いしておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- * 12月5日（土）に昨年に引き続き健康セミナーを開催いたしました。元気こころ館で開催しましたが、昨年以上に多くの方に参加していただきました。有難うございました。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。
骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみてもいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。
骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- * MRI で脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながることがあるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。
無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。
- * MRI は腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。

カラーマン、芸能通になるか カラーマン（とその女）

実は、我が家にはビデオというか、CD でも何でもいいのだけれど、そういう類の録画機能を有する器械がここ20年ばかり存在して居なかった。20年前の、まだミーハーだっ

た頃は、8ミリビデオとか早々と購入したり、VHSとベータが戦争をしていた時分には確かにビデオデッキもあったと思う。(まだ、ミーハーだった頃が、あったんだ。20年の月日で意外と長いのもかもしれないわね。でもあなたは、今でも十分ミーハーだし、さらにそれにバカ機能が加わって機能強化されているように見えるわね。)

テレビでは「地デジ」「地デジ」と地デジカとカムバックしたクサナギ君が叫んでいた。地デジ放送なのに、我が家のテレビではアナログしか映らない。たまに、実家に帰ったとき、年老いた両親二人が見ている薄型テレビは大きくて、しかも地デジである。

年金暮らしの年寄りが見ているくらいだから、もう、薄型テレビはぜいたく品でも何でもないであろうと思い、意を決してついにテレビを新しく購入することにした。(やっぱりなあ。ただのバカじゃなくて、時代遅れのバカだわ。意を決して買うとすればそれはブラウン管のテレビの方だわ。今頃、あの分厚いボディのテレビを買うには相当勇気が要ると思うわ。薄型テレビは、あ、た、り、ま、え！普通に買いなさいな！)

しかも、最近のテレビは、録画機能もついているやつが多くて、ついに20年ぶりに録画機能を手にしたのだ。し、しかもだ。なんと、録画が実に簡単にできるではないか。これぞ、技術大国ニッポンの真髄だろう。(ばーか、間抜け。時代おくれ。自分が初めて知った時が、世の中の基準と思うなよ。そんな大げさなもんか。ニッポンの技術をなめんじゃないわよ)

ソニー、パナソニック、日立、東芝、シャープなどなど世界的大企業がこんな小さな島国から輩出しているということは、冷静に考えたら、凄いなあとおもう。そういえば、車もそうか。トヨタ、ホンダ、日産、スズキ、三菱、スバルなどなど。うーん、日本人で凄いなあ。ついでに言えばノーベル賞も……。東大と京大でそれぞれ6人も出てるぞ。(あなたね、その点ではニッポンはまだまだなのよ。ちなみに、ケンブリッジ大学は83人、コロンビア大学は77人、MITは72人だそうよ。まさに掃いて捨てるほどいるわ。米英が圧倒的に多いのが特徴みたいだわね。なんか人種的な、差別とまではいわないけど、そういうひいきをする何かは匂わないこともないわねえ)

正月から、話しが迷走してきた。今回の話題は、ゲイの話題だった。(ゲイのじゃなくて、芸能の話題でしょう！正月くらい真面目にやらんか！)

最近は何とテレビを見ない私だが、この年末年始は1日中、「地デジ」を見ていた。お笑いの人達の名前も随分覚えたぞ。

お笑い系の番組を見ているうちに感じたことは、今さらながらではあるが、人生に笑いは必要だ、ということだ。ブラックジョークやユーモアも当然含まれる。スポーツに感銘

を受けたり、名曲に心を動かされるのは、素晴らしい経験である。日々の単調な生活の中で、これらはある意味、生きていく上での大きな支えとなったりもするであろう。

しかし、ごく日常で、スポーツや芸術の感動に触れる機会は少ない。と、というか、殆どない。そのときは感動して震えることがあっても、時間が経てば忘れる。もう、私などは、野球の WBC 優勝の感激は忘れてしまった。かろうじて、イチローが出るコマーシャルを見る時、ああ、そうだったなあと思うくらいである。

したがって、日々生きていく上では、そういうイベントそのものはあまり役には立たないかもしれない。

だからこそと言うべきか、日々生活する人々に、日常のお笑いが受け入れられ、ちょっと食傷気味であるが、どのチャンネルをひねっても（今時は、チャンネルをひねることはないわねえ）、お笑い芸人が出演しているのもそれなりの世の中の空気を反映しているのかもしれない。世の中の方が笑いを求めているのだ。クイズ番組、旅番組、スポーツ中継、歌番組、テレビドラマ、バラエティー番組すべてにお笑い芸人が出演している。NHK のニュースくらいじゃないか、無縁なのは。（まあ、それは大げさにしても、確かに、お笑いの人が出ていない番組の方が圧倒的に少ないのかもしれないわね。）

世はデフレ不況で、大学を卒業したけれど就職できない若者も増えているらしい。高卒はもっと厳しいようだ。世に出る、ということは、ある意味、自分でお金を稼ぐということでもある。職がないことは、すなわち、世に出れない、ことになる。当然、自然と気持ちもふさいでくるであろうし、また、苛立ちも募るであろう。年収 200 万円以下の生活は厳しい。しかも、それは独り者に限らない。家族が居る人は、もっともっと大変だ。せめて、親が裕福であればまだ救われるが、デフレ不況は親の世代の年金生活者も直撃している。バブル時代のような明るさ（いかに軽薄であろうとも）はもう求められない。

全体に暗い。そして重苦しい。そんな中で、お笑い芸人がもてはやされているのかもしれない。一部の、有名芸人は超リッチであるようだが、売れない芸人はそれこそ年収 100 万円以下の人もたくさん居るという。（それって本当かどうかは、別だわね。だいたい、お笑いの若手芸人が高収入者ばかりだったら、たぶん、みんなはついてこないから、貧乏を売りにするそれなりの演出とかもあるのじゃないかしら。あー、どうもあたしもだんだん疑い深くなってきてしまったわ。だめだわね、これじゃ。人間素直じゃなくっちゃ）

貧乏でも明るく振舞う彼らに勇気づけられるのかもしれない。貧乏を笑い飛ばせと。

年末年始、5 時間スペシャルとか見ていると自然と芸能通、というか、芸人の顔と名前が一致するようになってきた。何で 5 時間スペシャルか。同じ出演者や同じセットで長く

放映できるから、制作費が安くしあがるらしいと、ここでもデフレ不況の影響がでていた。

もう、バブルの時のような贅沢は要らない。しかし、せめて多くの人々が人並みに生活できる社会は必要だ。結果的に、国民自らの手で壊してしまったけれど、一億総中流社会は正しい選択だったのだ。済んだことは仕方がない。格差社会を是正するために政権交代して良かったと思うまで、あと何年くらい待って、どのくらい辛抱したら良いのだろうか。

(ふん。そんな他力本願じゃだめだよ。こんな時こそ自力で頑張って、毎日笑って過ごすことが大切だよ。でも、年末の宝くじもはずれちゃったしなあ。)

とりあえず、いまは頑張るしかないから、今年一年、また頑張っていきましょう。なるようにしか、ならないだろうから。

一期一会

坂村真民

思いもかけない人と出会い
思いもかけない人の手を握り
一期一会の喜びと
一期一会の悲しみをする
時には人ではなく
木であったり
石であったりする
そして時には人よりも
木や石の方が
もの言わぬだけに
無限の感動を覚え
涙のにじむことがある
無常といい
永遠といい
命のやりとりのせつない尊さよ

編集後記

新しい年がはじまりました。胸がときめくとか、思わず飛び上がるほど嬉しいとか、そんなステキなことがあるといいですねえ。なんとなく、ここ数年、ニッポン全体がどことなく重苦しい空気に包まれています。若者の就職難も大変そうです。老老介護で苦しむ人達も身近にたくさん見ます。きっと今年は楽しい事があると信じて日々を過ごしていきたいものですね。(KT)